

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原 所在地 / 愛知県田原市田原町萱町 1

TEL / 0531-24-2345 HP / <http://www.tahara-tmo.com/>

街歩ook田原

街あるっく田原

第14号

●人生を通して「茶」に親しむ

●「城宝寺」文化めぐり

●ブルーベルカフェ～二つの原点にせまる～

人生を通して「茶」に親しむ

煎茶とは、和歌を詠み書き

しながら、自由な雰囲気の中
お茶をいただく。文人の世界
からはじまり、江戸の幕末に
大流行した。渡辺崋山もその
一人であり、武士でありなが
ら絵を描いている文人だった。

朝倉先生の茶道との出会いは
中学2年生の時、母にしつ
けの為に連れて行かれたのが
始まり。高校生の時は弓道に
打ち込み、一旦茶道から離れ
たが、結婚後煎茶と出会い、
不思議とその魅力にひかれ既



に40年続けている。

子供達に教えるきっかけに
なったのは、10年ほど前に、
田原市教育委員会の生涯学習
課より話をいただいた事が始
まりとなっている。田原市の
池の原会館にて月1回、年12
回行っており、2月には「子
供のお茶会」が他の茶道グルー
プと順次開かれている。



子供教室が開かれた当初は
6名程だったが、現在では30
名程に増えた。

最近は煎茶をペットボトル
でしか飲んだことがない子供

が多い。昔は結婚前にお茶や
お花を習うのはごく普通の事。



子供達に煎茶を通し、お辞儀
の仕方や畳の歩き方など礼儀
作法を身につけている。朝倉
先生の教室が特に厳しいよう
だ。そんな厳しい先生の気持
ちが届いているのか、子供達
は自主的に「子供茶会」では
着物を着て参加するという。
おばあちゃんの着物や知り合
いの人にいただいた着物など。

先日、先生のご自宅で煎茶
をいれていた。煎茶の
香りが広がり、茶道とは無縁
の私でも、とても美味しくて
ただけ、心が落ち着ける時間

を過ごせた。

茶室には掛け軸や茶花が飾
られ、季節やお客様に応じて
道具の取り合わせや調和を考
え、四季折々のものを飾って
いるとか。客はその想い入れ
や趣向を感じ、ともに楽しむ
というように、客との対話立
ち居振る舞いまでのすべてが
煎茶道だという。

日本はその道を極めるとし
て茶道・柔道などのように道
をつけている。そして何か一
つ続けられる事があると良い。
続ける事で、次の世代まで引
き継がれていく事を願ってい
る。



城宝寺古墳



●城宝寺古墳は、城宝寺山門の右手にある渥美半島で最大級の横穴式石室をもつ古墳です。弘法大師 37 歳の時、江ノ島から西国への帰途この中で護摩の修行をして、この土地の人々と結縁し、弁財天を信仰した事がこの寺の始まりだという言い伝えがあります。



注：普段は施錠されているため、中には入れません。

城宝寺文化めぐり

城宝寺のゆらい

●渡辺崋山の菩提寺として有名な城宝寺は弘法大師の開基と伝えられています。境内には渡辺崋山の墓所や句碑、通称穴倉と呼ばれる城宝寺古墳、東海七福神の一つ弁財天など見どころいっぱい。拝観料は無料ですが気持ちばかりの心付けを。



ーホルトノキー

たはらの巨木・名木 100 選に掲載 5 本の株立ちからなっています。



窪田原市田原町稗田 4 8
☎ 0531-22-0076

渡辺崋山・村松家累代の墓所



●渡辺崋山

激動の幕末を生きた渡辺崋山。田原藩家老であり、画家としても名を成し、蘭学者の顔も持っています。田原藩家老として農学者を招くなど領民の生活安定のために献身的な活動をし、画家として「一掃百態」や「鷹見泉石像」など有名な絵画を残しています。



●村松愛蔵

自由民権運動の指導者で、田原藩士の家に生まれ、民権政社「恒心社」を組織し、自由党に投じて活躍、自由民権の説を主張しました。明治 17 年には、同志を募って挙兵を企てるが未然に発覚し捕らえられ、国事犯として刑に処せられます（飯田事件）。憲法発布による大赦で出獄後、衆議院議員を 4 期務めますが、明治 42 年ふたたび投獄されて政界を去ります。



崋山霊牌堂



●本堂奥の崋山霊牌堂。幕末の先覚者であり、画家としても有名な「渡辺崋山先生」の位牌堂です。天井画は、日本画家の松林桂月画伯をはじめ、日本有数の画家・書画によって描かれ、『花の絵』で彩られています。霊牌堂入口の天井にも『花と鳥や動物』などが描かれ、先生の遺徳を今に伝えています。

🌸 拝観料 200 円



天井一面に描かれた「花の絵」

東海七福神



●東海七福神は、昭和 33 年に開眼し、名刹 7 ケ寺に七福神を祀り、信仰と観光を兼ねて巡拝出来るようにしたものです。

🌸【東海七福神めぐり】🌸
平成 25 年度の大祭
春 3 月・秋 11 月に開催予定



ー東海七福神弁財天ー



『二つの原点に せまる』

File
No.8

ブルーベルカフェ～

柴田 哲志さん

プロフィール

1968年生まれ。成章高校(野球部)・中京大学卒業後、アメリカンレストラン「ジョージズ・ダイナー」など飲食店にて修業。平成16年7月セントファール1Fにオープン。

machicco
田原の企業・お店で活躍されている方を紹介します！



ブルーベルカフェは田原市の中心部にあるセントファールの1階にあるカフェ。7月をもって8周年を迎えた。

「作れそうで作れない。こ
こでしか味わえないサンド
イッチ！」をコンセプトに、
他では食べられない『アメリ
カンサンドイッチ』、アラビ
カ100%の豆を使用した『コー
ヒー・エスプレッソ』をメ
ニューに採り入れ、手軽で気
楽に立ち寄れる店を目指して
いる。

セントファールは元もとシ
ロキヤスパーのあった場
所。柴田さんは地元の成章高
校に通っていたこともあり、
部活帰りにシロキヤスパー
や萱町の商店街には良く立ち
寄っていた。

セントファールへの出店の
話がでた時、当時の街並みや
商店街の人達のことを思い出
し、とても懐かしく感じた。
これも何かの縁だと思い、出
店を決意したそうだ。

メインメニューは『サンド
イッチ』と今では定着してい

るが、一つ目の原点は名古屋

の「ジョージズ・ダイナー」

というアメリカンレストラン

にあるという。店内にはオー

ルディーズが流れ、その当時

はとても珍しいレストラン。

それまでサンドイッチといえ

ばミックスサンドしか知ら

なかった柴田さんにとって、

トマトそしてグリルチキンや

ベーコンなどを挟み、バーベ

キューソースやチリソースな

どで味付け、山盛りフレンチ

フライとシェイクといったス

タイルに衝撃を受け、「将来

こんなお店が持てたら」と漠

然と考えていたようだ。

更に美味しいサンドイッチ

を求めて、東京や大阪そして

アメリカにも食べに行き、そ

の時の経験を活かしブルーベ

ルカフェでしか味わえないサ

ンドイッチを提供している。

もう一つの原点。

それは「親の背中」。

柴田さんのご両親は接客業

に携わっており、お店に来る

子供達にとっても優しく接して

いた事が強く印象に残ってい
るそうだ。

サンドイッチを見た目以上

に美味しく感じてもらう為に

は、お客様への接し方は大変

重要だと考え、親をお手本と

しているが、まだまだ追いつ

けそうにないという。

最近ではパーティー用のサ

ンドイッチの盛り合わせの注

文も増え、「家族で食べられ

るテイクアウトメニュー」も

充実させている。「今後もお

客様のニーズに合わせ気軽に

利用でき、喜んでいただける

ブルーベルカフェになりた

い」と語ってくれた。これか

らも理想のお店造りを追い続

けてもらいたい。



『フィリチーズステーキサブ 750円』
(ドリンク・ポテト・コールスロー付き)



BLUE BELL CAFE

田原市田原町萱町1

☎ 0531-22-5345

🕒 7:00-20:00

📅 年中無休

📦 200台

